

医学図書館 ニュース

No.603 2022 December



開館カレンダー

12月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8:30-22:00

10:00-20:00

休館日

古い専門書が私に天井を仰ぎ見させる理由

先端イメージング研究センター 太田 啓介

子供の頃から、小説よりは専門書を眺めるのが好きだった。なぜか少し背伸びしたような気になるからだろう。時に人生に強く影響する（狂わすともいえる）本に出会うことがあるが、自分にとってはそれがやはり専門書だった。

実家の近くにあった図書館には「ミクロの世界」を扱った特集が組まれていた。今思い返すと、当時、近くの生理学研究所に最新の超高压電子顕微鏡が導入され話題になっていたからだと思う。意味もわからずその世界を堪能し、父に電子顕微鏡が欲しいとねだったことも覚えている。もちろん怒られた。それからずいぶん経って、大学では本当に最新の電子顕微鏡を扱うようになった。今度は仕事として専門書を眺めるようになってしまったが、そんな中にお気に入りの専門書がある。

とても古い本なのだが、アルデンネ著『アルデンネ超電子顕微鏡』¹⁾、M. Hayat 著『Fixation for Electron Microscopy』²⁾、串田弘著『超薄切片法』³⁾の3冊である。いずれも単著で、その専門分野を網羅的に調べ尽くしている。アルデンネについては、太平洋戦争が始まる直前にUボートに乗せて秘密裏に入手され、当時の文部省が日本学術振興会第37委員会に翻訳を依頼、日本の電子顕微鏡開発における最初の教科書になったいわくつきの本である。今眺めてみても、実に精緻な内容で正直驚くばかりだが、これが個人の研究所で紡ぎ出されたものだと思うと著者の生き様まで見えてくる気がする。Hayat先生も串田先生も同様で、当時の知識のアーカイブとして、網羅的な研究成果がまとめられている。

研究には流行り廃りがある。そんな中で現在まで残っている技術は、その黎明期にあらゆるトライアルをした結果、当時の技術としての最適解が引き継がれているものが多い。ちょうど生命がカンブリア大爆発でありとあらゆる可能性を試し、結果として現生生物が生き残っているのと似ているように感じる。黎明期の技術開発は、多くの分野の研究者によって、今では考えられないような様々な取り組みがなされている。

今更こんな古い本を、と思われるかもしれないが、黎明期のトライアルを、しかも単著でまとめている本は、その当時の学会の興奮を今に伝えているように感じるのである。もちろん懐古的な意味で眺めているわけではない。当時は存在しなかった技術に応用することで、当時の隠された取り組みが大きな進歩に繋がることもある。私が取り組む研究では特に顕著かもしれないが、まさにアイデアの宝庫、バイブルとも言える。読み込むほどに尊敬するとともに、人生が狂わされているのかも、と天井を仰ぎ見るのである。

1) アルデンネ著；アルデンネ超電子顕微鏡，文部省専門學務局譯，丸善，1942

2) M. Hayat ; Fixation for Electron Microscopy, Academic. Press, 1981

3) 串田弘著；超薄切片法，文光堂，1971

企画展示開催中！

現在、医学図書館2階閲覧室で企画展示をしています。

今回のテーマ：「学生・教職員推薦！あなたにおすすめしたい本」を開催中です。

学生・教職員の推薦者のコメントとともに展示しています。

2023年1月31日（火）まで開催していますので、是非、お立ち寄りください



推薦者のコメント集も
配布中です♪





12月・1月の休館情報

12月29日(木)～1月3日(火)



冬季長期貸出実施のお知らせ

下記のとおり学生の皆様を対象に長期貸出を実施しますので、
ぜひご利用ください。

貸出期間：12月2日(金)～12月28日(水)

対象者：医学部学生(学部生・院生)、臨床検査専門学校生

対象資料：単行本のみ(雑誌は通常どおり)

返却期限：1月5日(木)



試験期間の利用案内

試験期間 1/4(水)～2/28(火)は、
土日の開館時間を8:30～22:00までに延長します。
どうぞご利用ください。



※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により上記の内容が変更する場合があります。
最新情報は医学図書館ホームページにてご確認ください。